

VTホールディングス株式会社

(名証2部、大証JQ:7593)

2012年3月期 第2四半期 決算説明会

2011年11月



VT HOLDINGS

この資料に記載されている業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれているため、実際の業績が予想数値と異なる場合があることをご了承ください。

●過去最高益を達成

- ✓ 第2四半期としては、営業利益、経常利益、当期純利益のすべての項目で
過去最高益
- ✓ 東日本大震災の影響等、厳しい外部環境であるものの、粗利率の向上に
注力しつつ、コスト削減を進めたことで、営業利益率は6.7%と前年同期比
0.7%改善

●財務体質の改善

- ✓ 自己資本は、前期末比1,952百万円増加
- ✓ 自己資本比率は、前期末比2.7%改善し21.3%

●中間配当8円、期末配当8円、年間配当16円(前年比+1円)

- ✓ 上期の好調な業績推移を勘案し、10月25日に配当予想を修正済



過去最高益を達成

- ✓ エコカー購入補助金の終了、東日本大震災の影響などにより、売上高が減少する厳しい環境ながら、営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも前期実績を上回り、**過去最高益**を達成
- ✓ 特に営業利益は、上半期として、9期連続の過去最高益更新

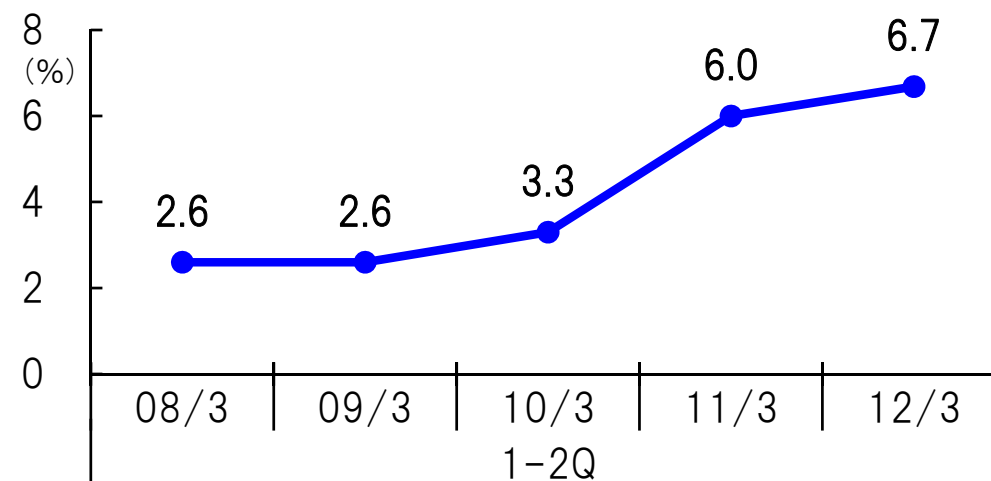
	08/3 1-2Q	09/3 1-2Q	10/3 1-2Q	11/3 1-2Q	12/3 1-2Q	前期比
(単位:百万円)						
売 上 高	51,554	47,657	41,602	47,231	43,394	91.9%
営 業 利 益	1,074	1,162	1,436	2,827	2,900	102.6%
経 常 利 益	990	978	1,253	2,686	2,829	105.3%
当 期 純 利 益	349	△70	564	1,322	2,484	187.8%
1株当たり当期純利益	10.22円	△2.08円	17.05円	38.67円	72.10円	186.4%
自己資本当期純利益率	4.5%	△0.8%	6.7%	12.1%	17.5%	+5.4%

自動車セグメントが増益

✓環境セグメントが減益であるにもかかわらず、順調に推移した自動車セグメントの収益により、**過去最高の営業利益**を達成

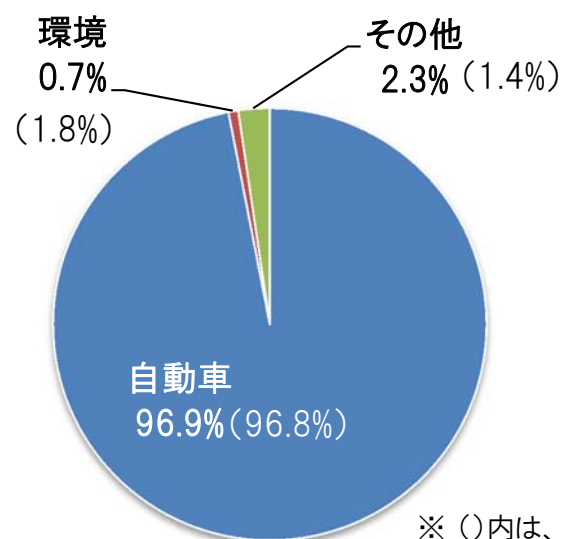
✓環境セグメントの減収減益は、6月発表済みの事業譲渡によるもの

【自動車セグメント営業利益率】



【セグメント別売上高構成】

12/3期 1-2Q



※ ()内は、前年同期

(単位:百万円)

		08/3 1-2Q	09/3 1-2Q	10/3 1-2Q	11/3 1-2Q	12/3 1-2Q	前期比
売上高	自動車	50,318	46,366	39,610	45,735	42,066	92.0%
	環境	163	447	676	842	314	37.3%
	その他	1,073	844	1,316	652	1,013	155.2%
	連結	51,554	47,657	41,602	47,231	43,394	91.9%
営業利益	自動車	1,304	1,188	1,300	2,725	2,942	108.0%
	環境	△92	55	146	197	43	22.0%
	その他	△138	△81	△10	△95	△85	-
	連結	1,074	1,162	1,436	2,827	2,900	102.6%

※ 「その他」には、住宅関連事業、全社費用と調整額を含んでおります。

自動車セグメント 部門別損益

VT HOLDINGS

2012年3月期2Q 決算説明

5

中古車部門・レンタカー部門が好調

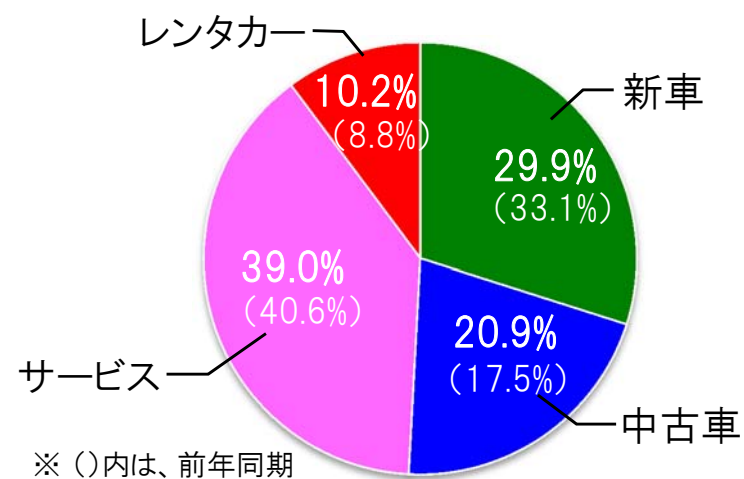
✓中古車部門は粗利益率を大幅に改善(+4.4%)し、大幅増益(+18.7%)

✓レンタカー部門は、3期連続の増収増益で、着実に成長中

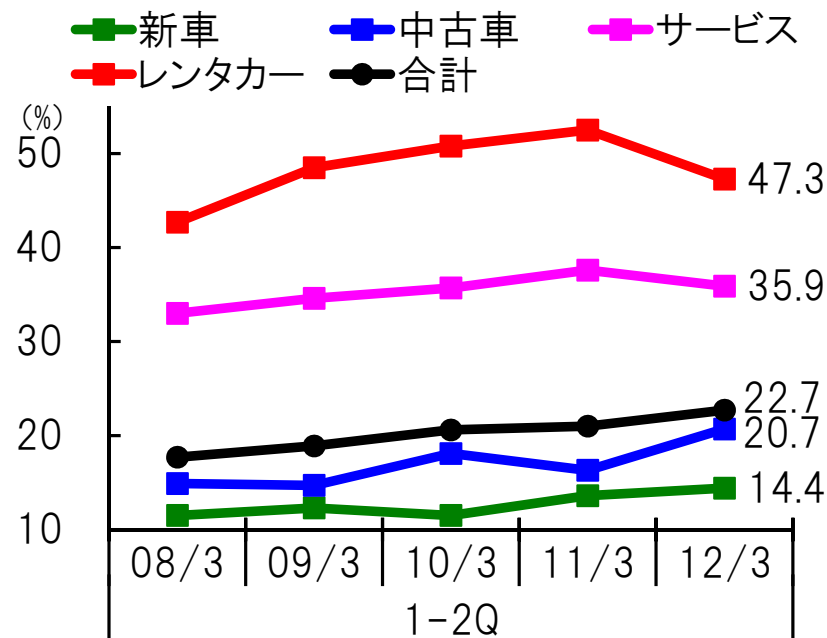
(単位:百万円)		08/3 1-2Q	09/3 1-2Q	10/3 1-2Q	11/3 1-2Q	12/3 1-2Q	前期比
売上高	新車	24,337	22,899	19,269	23,390	19,929	85.2
	中古車	14,287	11,752	8,584	10,340	9,697	93.8
	サービス	10,463	10,622	10,448	10,386	10,379	99.9
	レンタカー	1,230	1,091	1,308	1,618	2,060	127.3
	合計	50,318	46,366	39,610	45,735	42,066	92.0
粗利益	新車	2,810	2,827	2,223	3,181	2,860	89.9
	中古車	2,134	1,725	1,556	1,686	2,002	118.7
	サービス	3,454	3,670	3,726	3,907	3,725	95.3
	レンタカー	525	529	664	849	974	114.7
	合計	8,924	8,752	8,170	9,624	9,562	99.4
粗利率	新車	11.5%	12.3%	11.5%	13.6%	14.4	+0.8
	中古車	14.9%	14.7%	18.1%	16.3%	20.7	+4.4
	サービス	33.0%	34.6%	35.7%	37.6%	35.9	-1.7
	レンタカー	42.7%	48.5%	50.8%	52.5%	47.3	-5.2
	合計	17.7%	18.9%	20.6%	21.0%	22.7	+1.7

【部門別 粗利益構成】

12/3期 1-2Q



【部門別 粗利率】



基盤収益カバー率を更に改善

基盤収益カバー率

= 新車以外の粗利益 ÷ 販管費
(新車以外の部門の利益で、販管費をどの程度カバーできるかを表す指標)

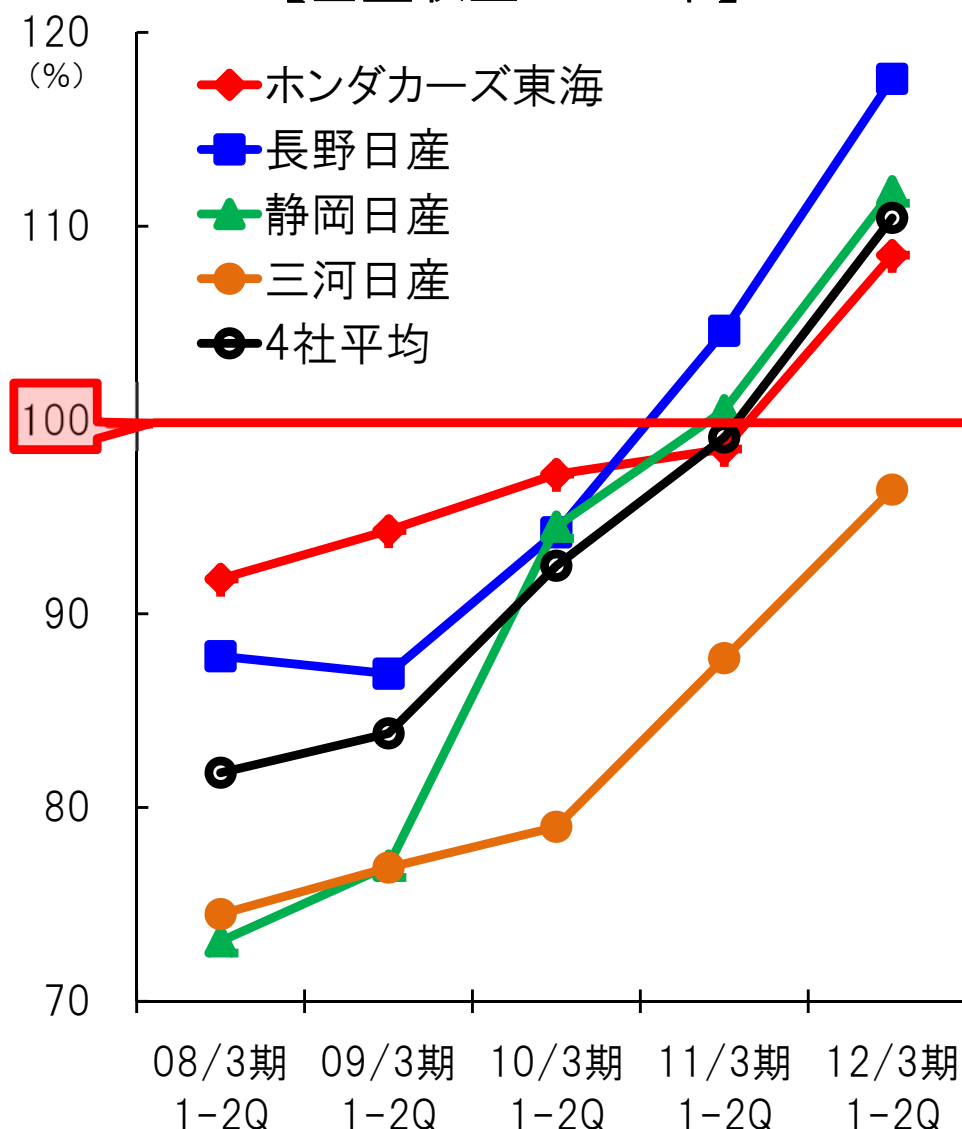
✓100%を超えれば、新車が売れなくても赤字にならない

✓メーカー次第となる新型車の発売サイクル等、外部要因に左右されやすい新車部門以外で、コストを賄う「**新車が売れなくても赤字にならない企業体質**」が更に定着

✓VTグループ主要4社の平均は、**110.4%**

✓主要4社は、ホンダカーズ東海、長野日産自動車、静岡日産自動車、三河日産自動車の4社であり、グループ全体の売上高の79%を占める。

【基盤収益カバー率】

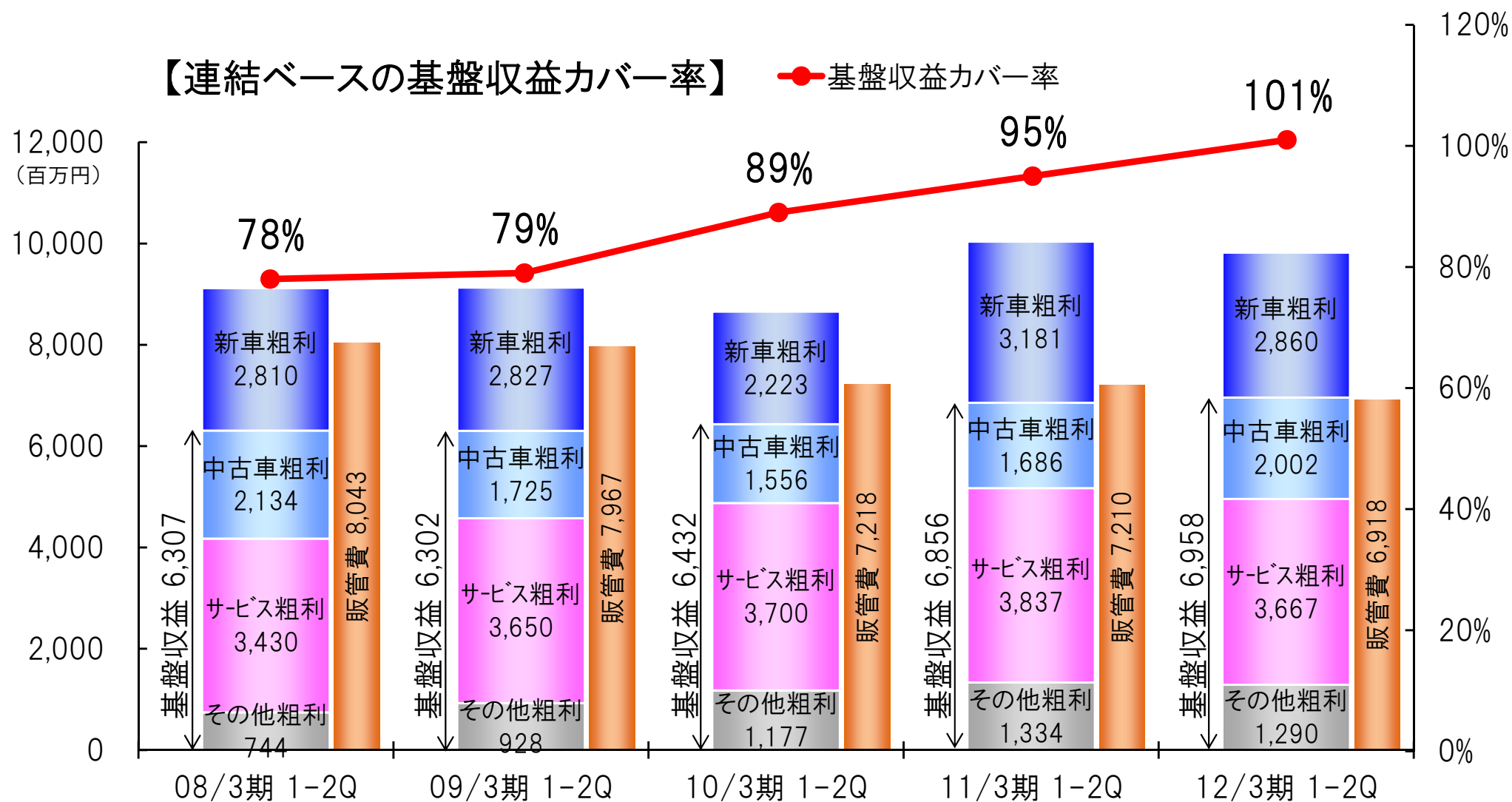


※ 基盤収益カバー率については、連結調整など考慮前の各社個別の決算数値に基づきつつ、一部4社比較の為の修正を行っております。

※ 4社平均は、各社の売上高に応じて、加重平均しております。

「新車販売に依存しない収益体質」

- ✓新車部門以外の粗利益の向上と販管費の圧縮に注力したことにより、新車部門以外の収益でコストをカバーできる状態に(基盤収益カバー率101%)



登録台数減少するも、保有台数は増加

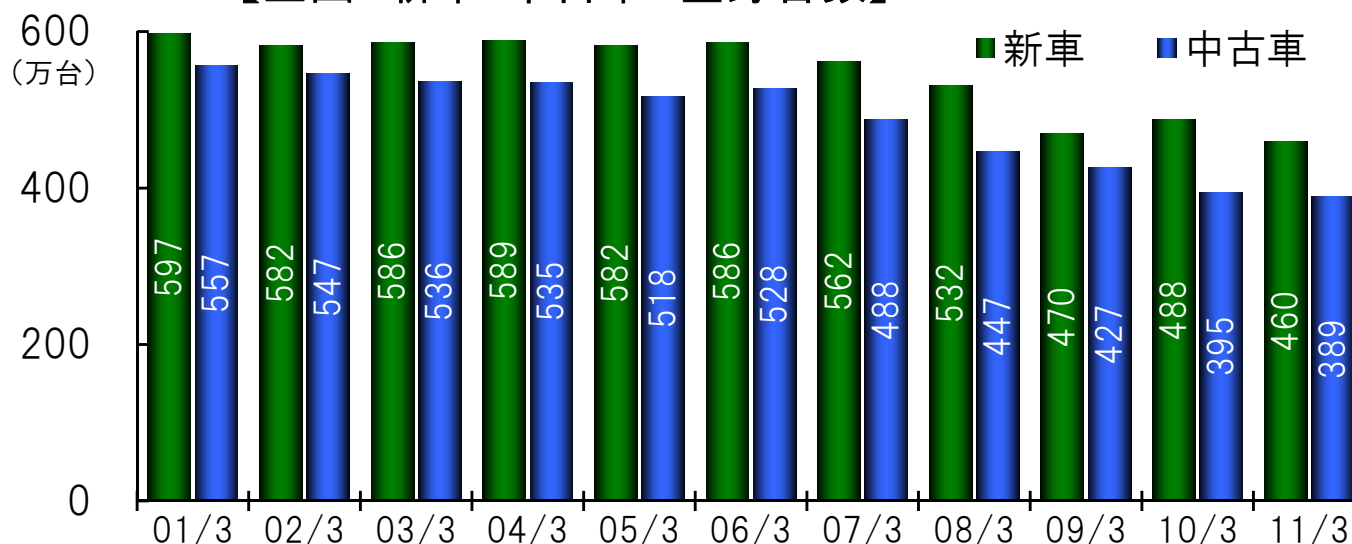
自動車の登録台数は、新車・中古車ともに減少傾向
(過去10年で新車23%中古車30%減)

10/3期は、政府の支援策などにより、新車販売の持ち直しが見られるが、長期的には緩やかな減少を想定

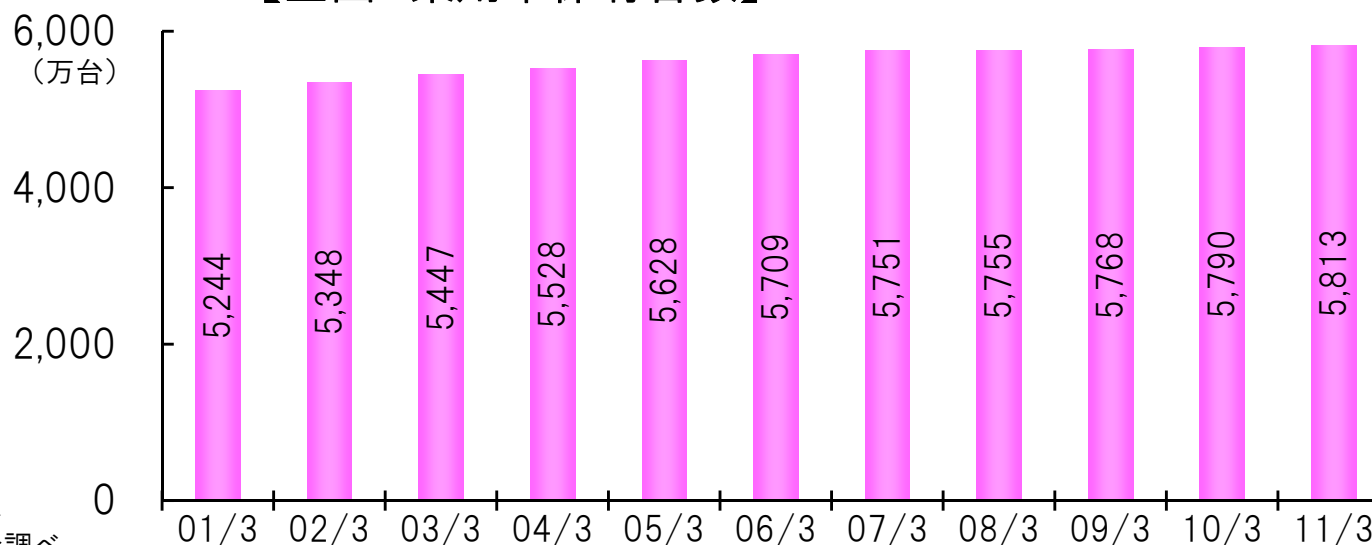
保有台数は、車輛の耐用年数が長くなったことなどもあり、01/3期比11%増加

⇒当社収益の約40%を占める
サービス部門は、保有台数を収益源とするストックビジネスであるため、引続き安定的に収益確保の見込

【全国 新車・中古車 登録台数】



【全国 乗用車保有台数】



負債の減少

(前期末比△11億円)

・長期借入金 △20億円 等

純資産の増加

(前期末比+21億円)

・四半期純利益 +24億円
・配当金の支払 △3億円 等

実質有利子負債の圧縮

ピーク時から約120億円
(35%)圧縮

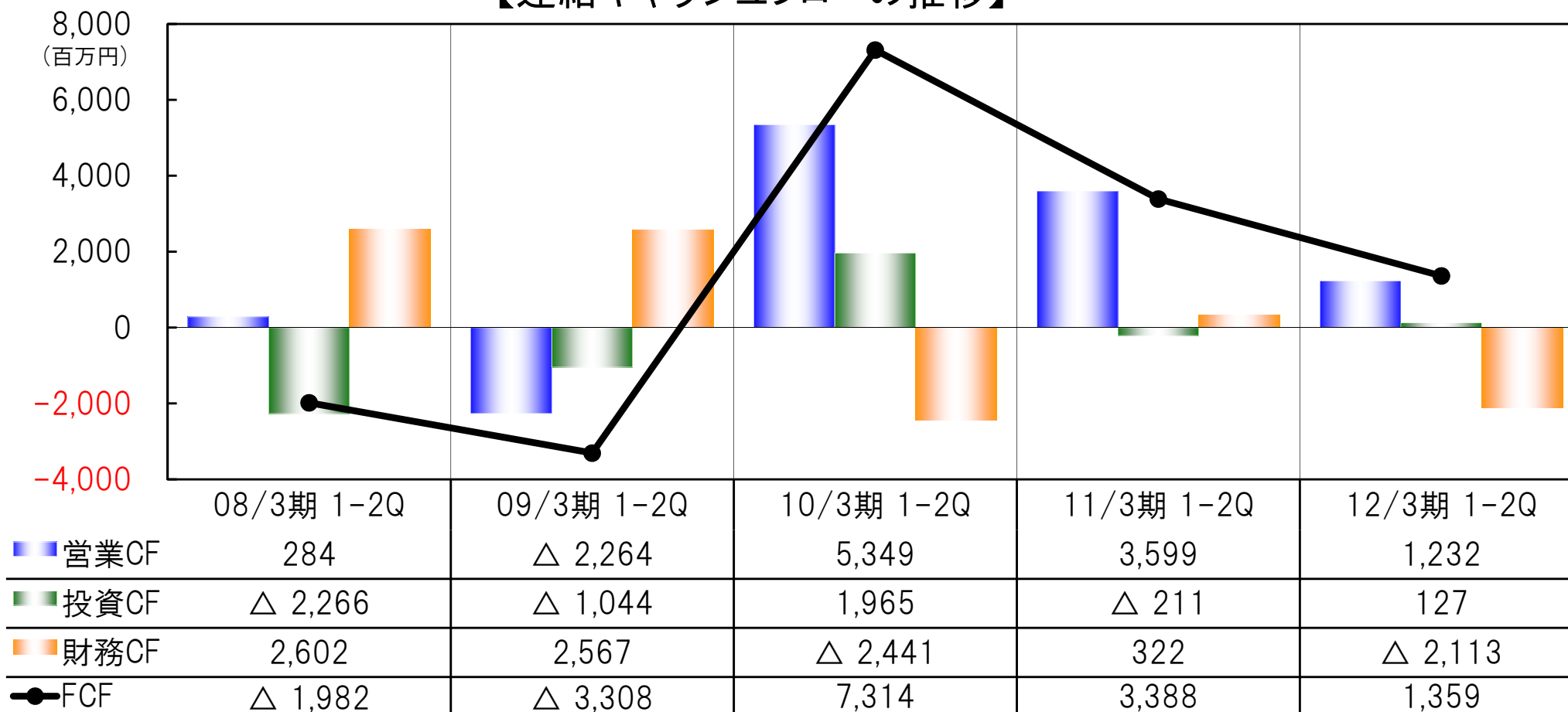
(単位:百万円)		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3 2Q末
	現金及び預金	2,297	1,908	7,042	6,412	5,664
	その他	16,076	14,000	16,110	14,221	16,343
流動資産合計		18,373	15,908	23,152	20,634	22,007
	有形固定資産合計	26,521	29,068	25,311	26,667	26,582
	無形固定資産合計	14,139	13,315	12,502	11,688	11,296
	投資その他の資産合計	8,661	7,712	6,862	6,739	6,714
固定資産合計		49,321	50,096	44,676	45,095	44,594
繰延資産		4	-	-	-	-
資産合計		67,699	66,005	67,829	65,730	66,601
	流動負債	41,802	44,364	42,893	37,813	38,621
	固定負債	15,134	13,376	14,446	14,815	12,907
負債合計		56,937	57,741	57,339	52,628	51,528
	資本金・剰余金	8,427	7,793	9,760	12,372	14,510
	自己株式	△100	△218	△193	△286	△443
	株主資本合計	8,327	7,574	9,567	12,086	14,066
	その他	2,434	689	922	1,015	1,007
純資産合計		10,762	8,263	10,489	13,101	15,073
負債純資産合計		67,699	66,005	67,829	65,730	66,601
<実質有利子負債>		28,666	34,677	25,876	22,757	22,684

営業CF 12億円

- ✓ 大震災の影響を受けながらも、上半期の営業CFは堅調に推移
- ✓ 借り入れの返済を進めたことにより、財務CFは△21億円

※ FCF(フリーキャッシュフロー) = 営業CF + 投資CF

【連結キャッシュフローの推移】





〈愛知県尾張、岐阜県西濃〉

- ・新車 24拠点
- ・中古車 1拠点

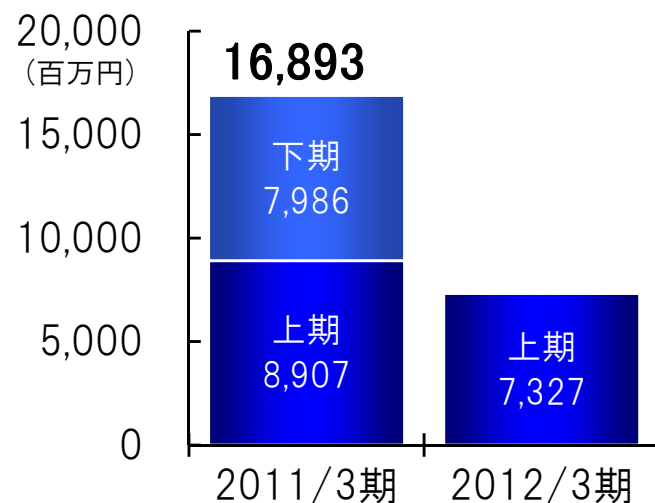
新車の納期遅れなど大震災の影響を受けた上半期であったが、震災の影響は既に回復、新型車投入等もあり下期に挽回する見込み

売上高経常利益率
7.3% (前年同期 7.2%)

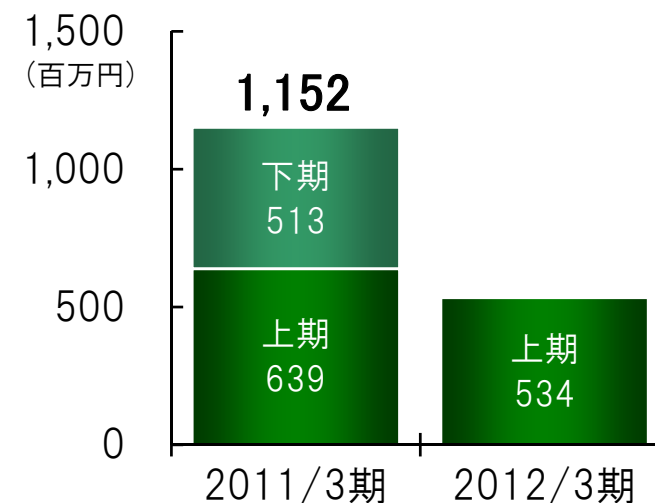
連結売上高に対する構成比
16.9%

上場時の母体企業でもあり、ここで培われた運営ノウハウがグループ傘下の他のディーラーに注入され、収益性強化に寄与

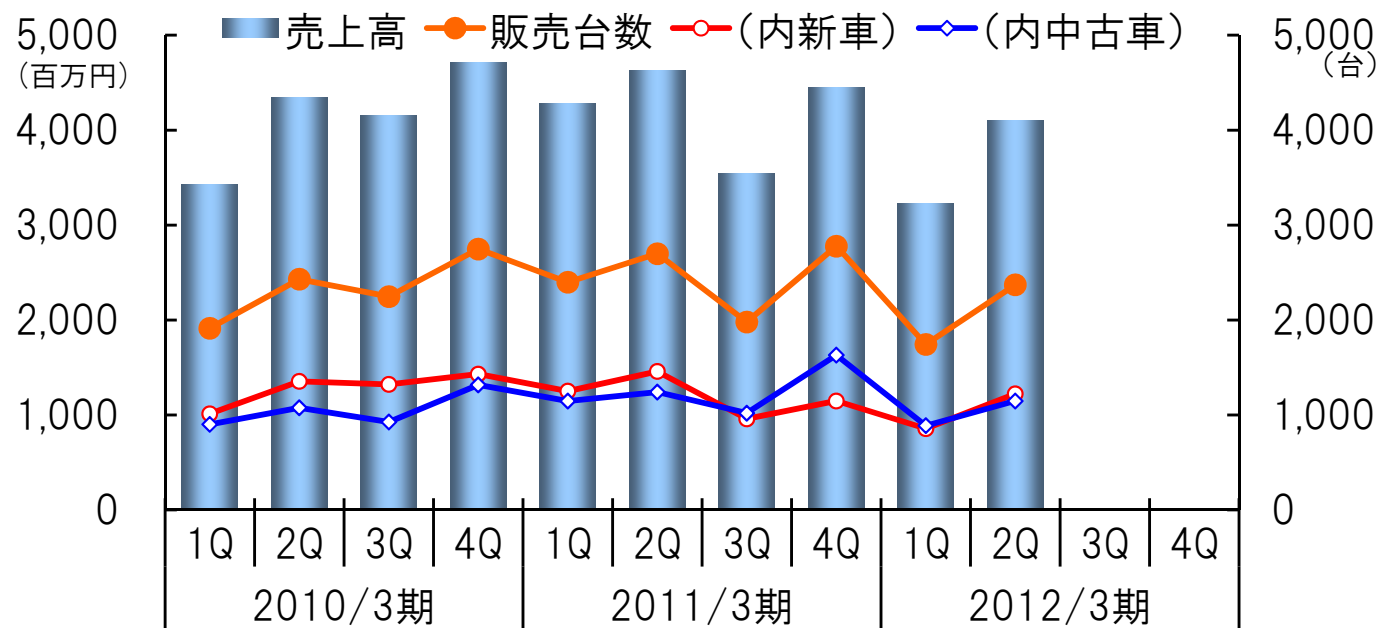
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



ホンダ車のトピックス

VT HOLDINGS

2012年3月期2Q 決算説明

12

2012年3月期

6月 フィット シャトル

人気のフィットのワゴンタイプが新登場(6/16)。フィット同様、ハイブリッドモデルもラインナップされる。



HONDA

10月 フリード ハイブリッド

人気の小型ミニバンフリードがモデルチェンジし、ハイブリッドモデルが追加(10/28)。

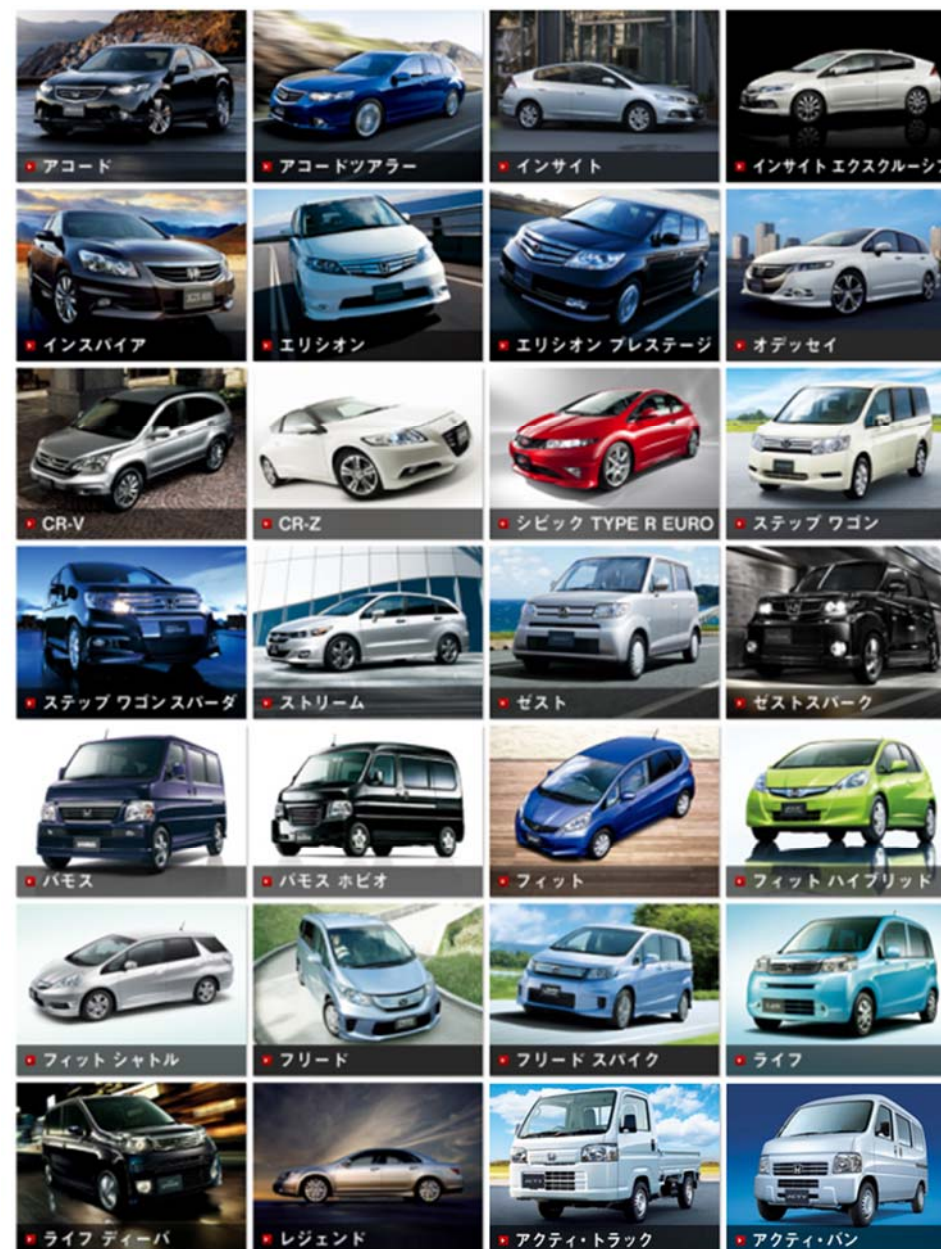


11月 N BOX

新型軽乗用車「N BOX」(エヌ ボックス)を発売予定。

下期 CR-V フルモデルチェンジ

人気のSUVがフルモデルチェンジ予定。





<長野県全域>

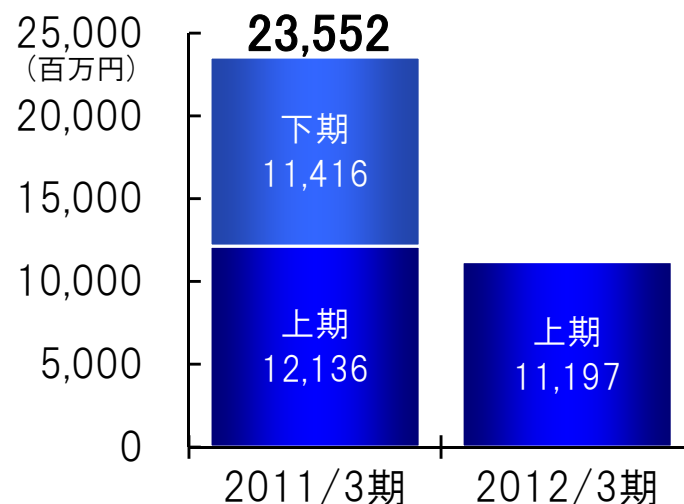
- ・新車 31拠点
- ・中古車 8拠点

大震災の影響は、比較的早期に回復、上期としては、過去最高益を更新

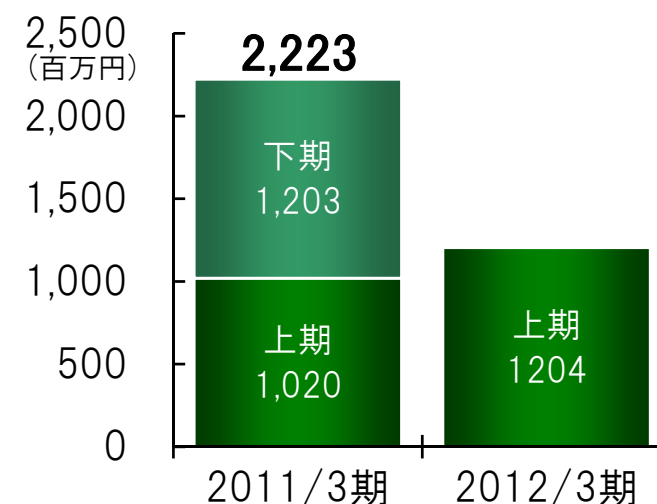
売上高経常利益率
10.8% (前年同期 8.4%)

連結売上高に対する構成比
25.8%

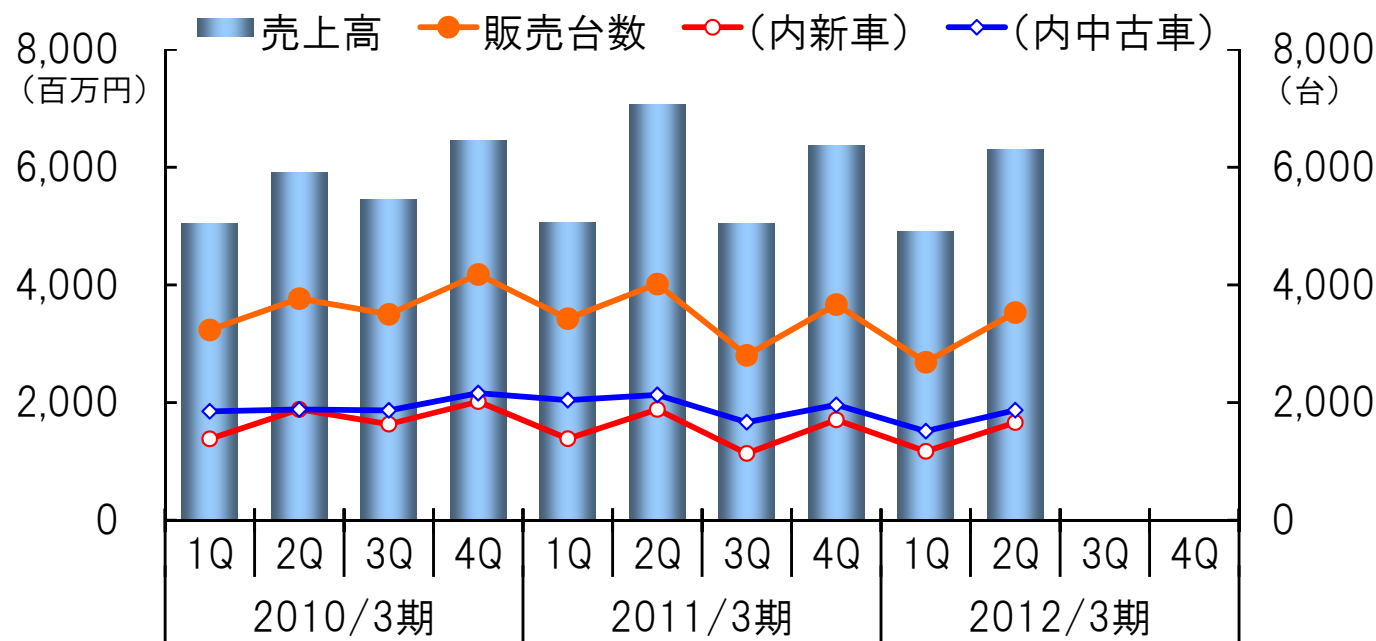
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】





<静岡県中東部>

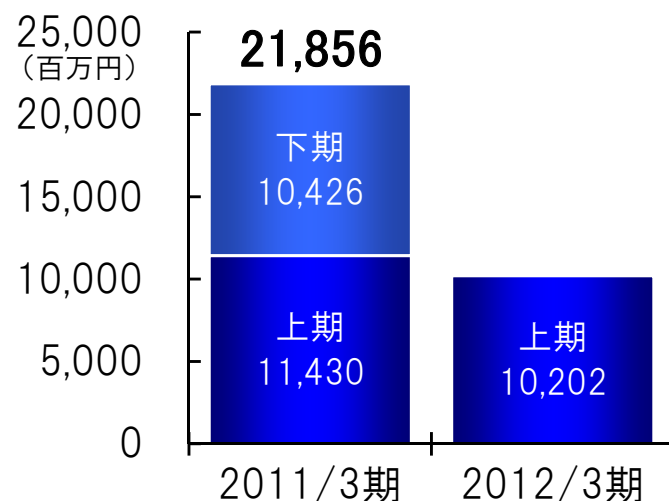
- ・新車 27拠点
- ・中古車 6拠点

大震災の影響は、比較的早期に回復、上期としては、過去最高益を更新

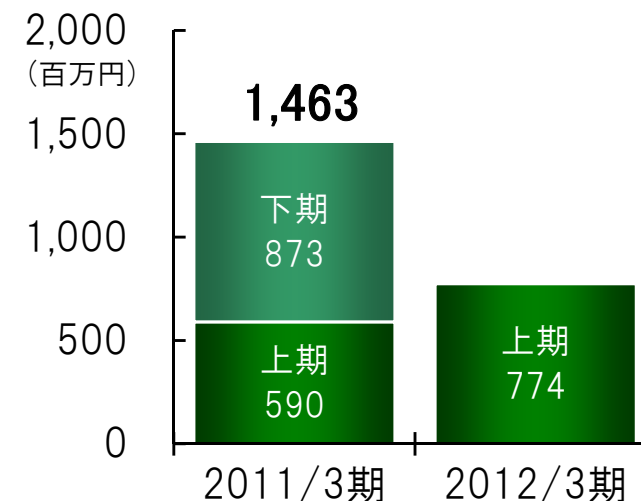
売上高経常利益率
7.6% (前年同期 5.2%)

連結売上高に対する構成比
23.5%

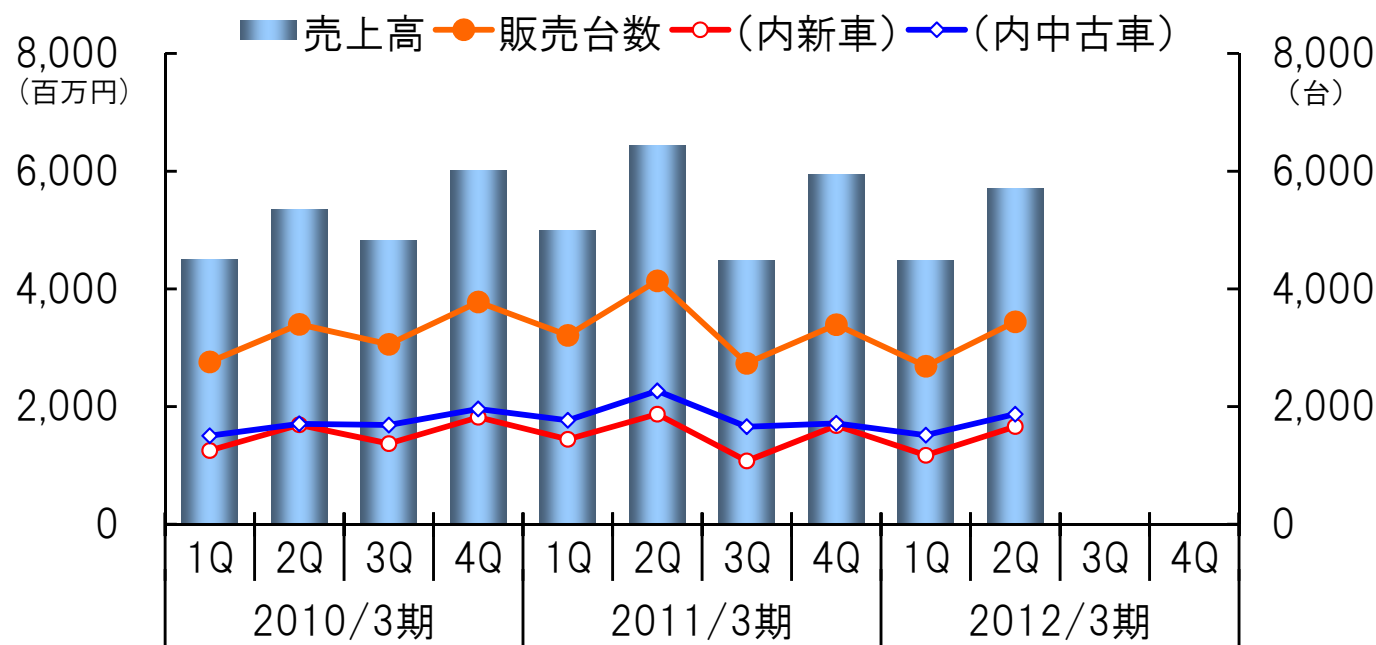
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】





＜愛知県西三河＞

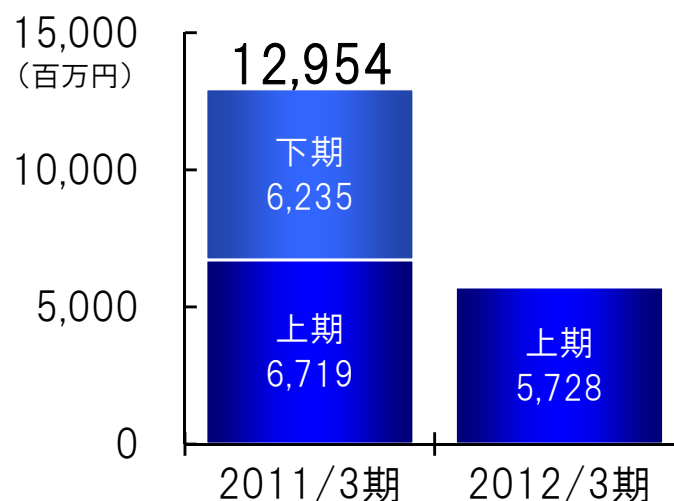
- ・新車 11拠点
- ・中古車 2拠点

大震災の影響は、比較的早期に回復、上期としては、過去最高益を更新

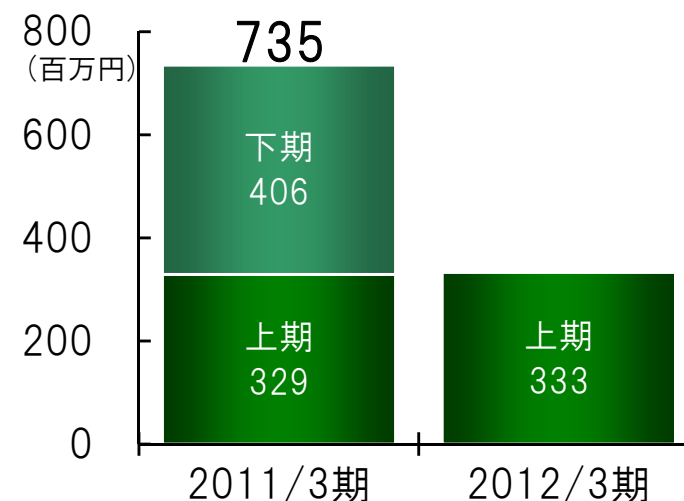
売上高経常利益率
5.8%（前年同期 4.9%）

連結売上高に対する構成比
 13.2%

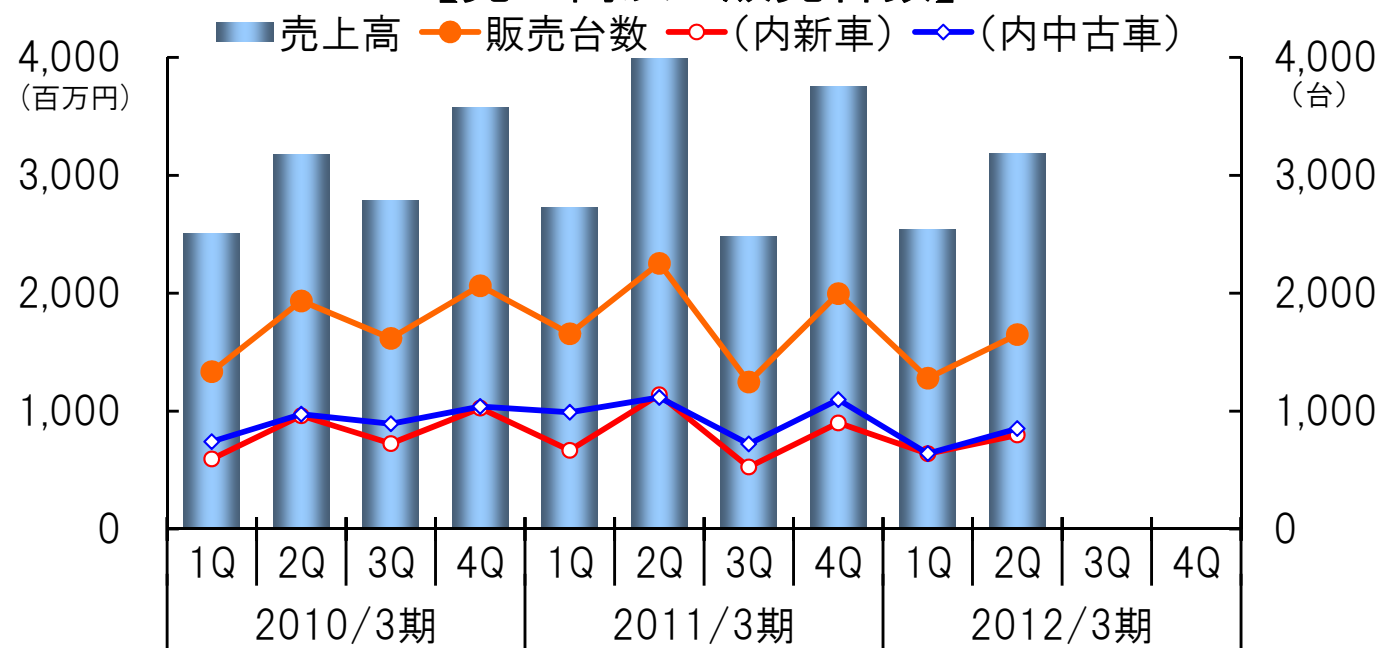
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



2012年3月期

6月 ラフェスタ ハイウェイスター
マツダプレマシーのOEMモデルが
新登場(6/15)



11月 NISSAN GT-R
エンジン効率の向上やサスペンション、トランス
ミッションの改良を加えたNISSAN GT-R の2012
年モデルが発売開始(11/24)



日産リーフ



ジューク



ティーダ



ノート



キューブ



マーチ



ルークス



モコ



オッティ



キックス



クリッパーリオ



エルグランド



セレナ



ラフェスタ
ハイウェイスター



ラフェスタ JOY



NV200 バネット



GT-R



スカイライン
クーペ



フェアレディZ



スカイライン
クロスオーバー



ムラーノ



エクストレイル



デュアリス



ジューク



ウイングロード



ラディオ



フーガ ハイブリッド



フーガ



スカイライン



ティアナ



シルフィ

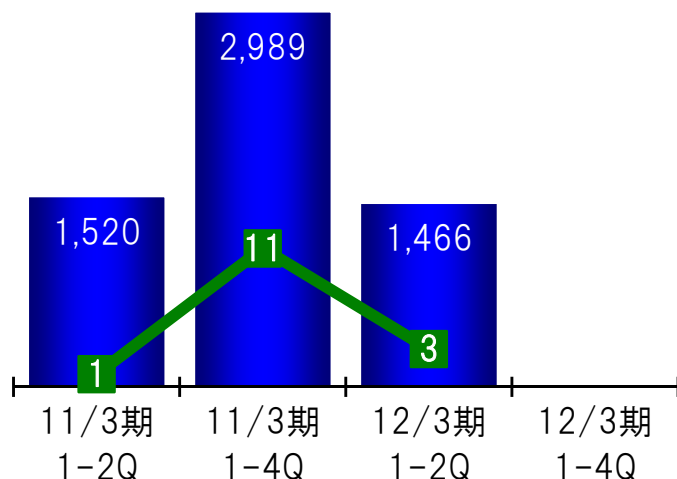
フォードライフ中部

〈愛知岐阜三重〉
・新車3拠点 ・その他9拠点

■売上高 ■経常利益 (百万円)



フォードの新車販売
を行いつつ、軽自動
車を中心としたサブ
ディーラーを展開



連結売上高に対する
構成比 3.4%

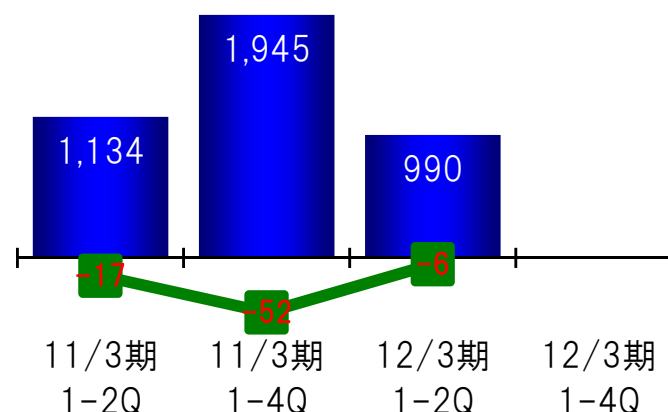
エルシーアイ

〈全国〉・直営2拠点 ・代理店21拠点

■売上高 ■経常利益 (百万円)



「エヴォーラ」「エリー
ゼ」のATモデル発売
により、受注環境の
改善が進み、通期で
は黒字化する見込み



連結売上高に対する
構成比 2.3%

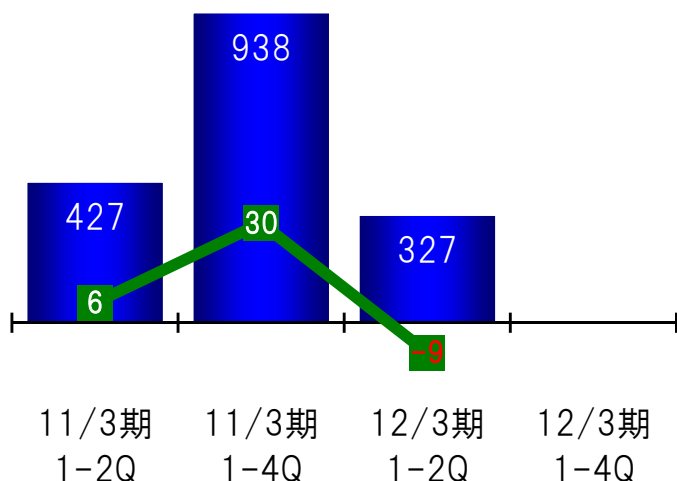
VTインターナショナル

〈大阪1拠点〉

■売上高 ■経常利益 (百万円)



主力車種「ジャガーX
J」のニューモデルが
遅れ、上期は苦戦し
たものの、受注は安
定しており、下期に挽
回する見込み



連結売上高に対する
構成比 0.8%

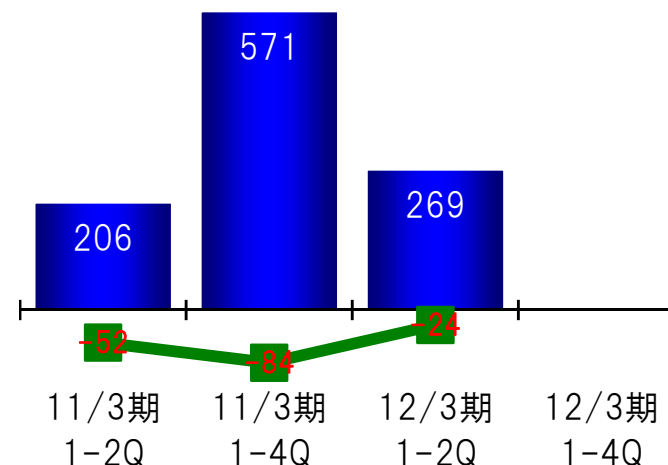
ピーシーアイ

〈全国〉・代理店20拠点

■売上高 ■経常利益 (百万円)



SAAB社の商品供給
自体に支障が出た
為、黒字化ならず



連結売上高に対する
構成比 0.6%

車種別 [新車販売台数]

VT HOLDINGS

2012年3月期2Q 決算説明

18

2012年3月期 1-2Q 実績

(単位:台)



ホンダ車		
1	FIT	390
2	FIT ハイブリット	337
3	フリード	305
4	FIT シャトル ハイブリット	243
5	LIFE	222
6	ステップW	216
7	ストリーム	58
8	オデッセイ	49
9	CR-Z	41
10	バモス	38
11	その他	180
合計		2,079

■は軽自動車



日産車		
1	セレナ	1,178
2	モコ	900
3	ルークス	683
4	マーチ	553
5	ノート	531
6	ジューク	491
7	キューブ	486
8	エクストレイル	410
9	エルグランド	237
10	ラフェスタHS	228
11	その他	1,384
合計		7,081

■は軽自動車



外国車・その他		
1	Elise	81
2	Peugeot 207	23
3	Evora	22
4	Fiat 500	17
5	SAAB 9-5 Sedan	14
6	Alfa Giulietta	13
7	Exige	13
8	Fiat Strada	12
9	Caterham RoadSports	8
10	JAGUAR XF	7
11	その他	587
合計		797

■はLOTUS ■はCATERHAM
 ■はJAGUAR & LANDROVER
 ■はSAAB ■はALFA ROMEO
 ■はFIAT ■はPEUGEOT



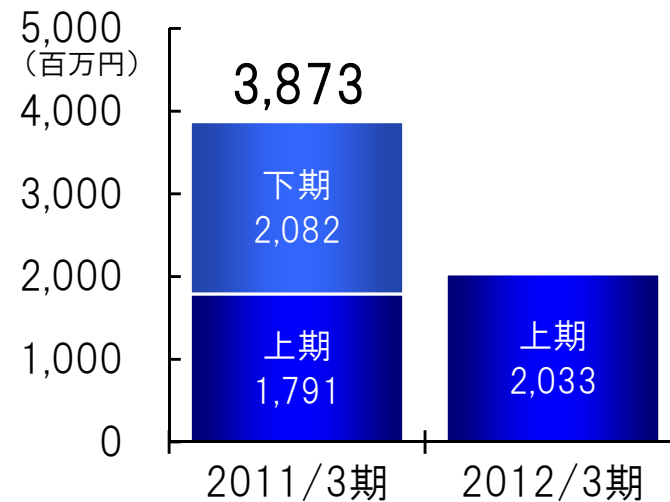
増収増益。

売上高経常利益率
4.0%（前年同期 4.2%）

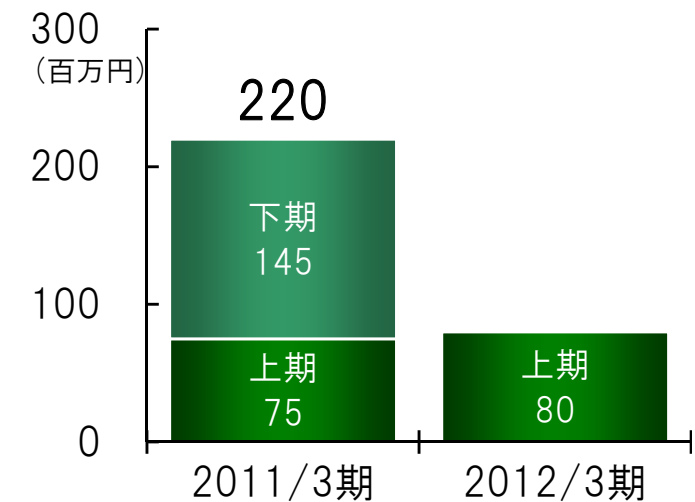
連結売上高に対する構成比
4.7%

高額車両の販売増加により販売単価が向上し、売上高が増加。

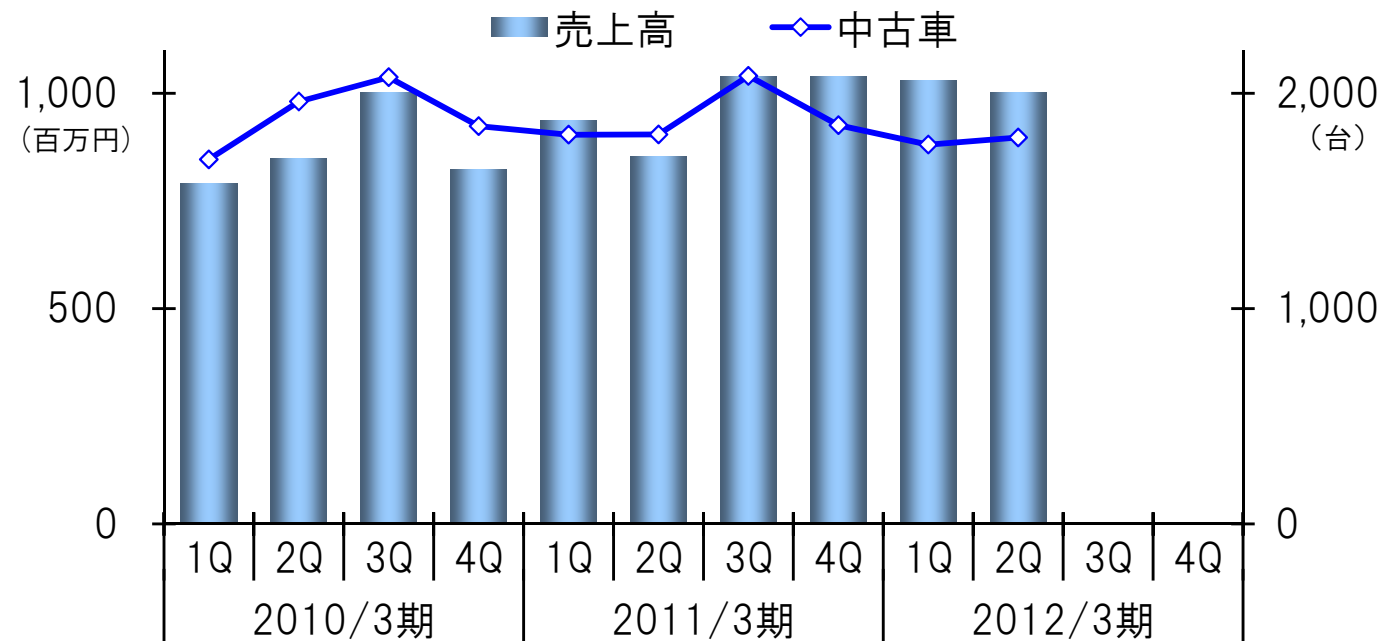
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】





直営店 27店舗
FC店 60店舗
計 87店舗

(2011年9月末時点)

増収減益。

売上高経常利益率
13.2% (前年同期 17.0%)

連結売上高に対する構成比
5.6%

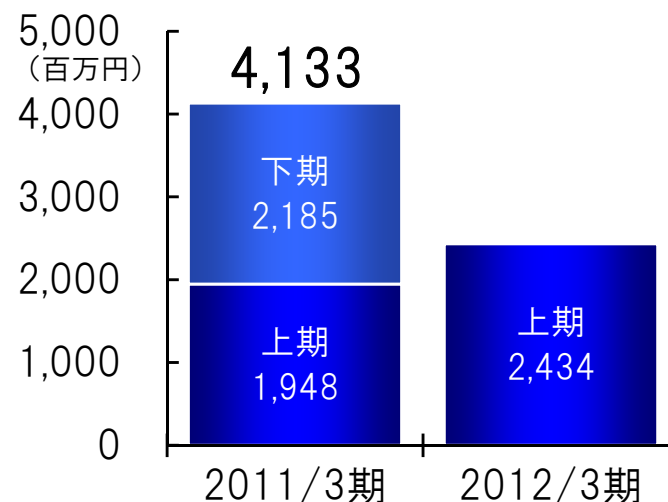
FCの新規開拓に注力し、直営、FC
両面で全国展開を目指す

〈2012年3月期に新規出店したFC店舗〉

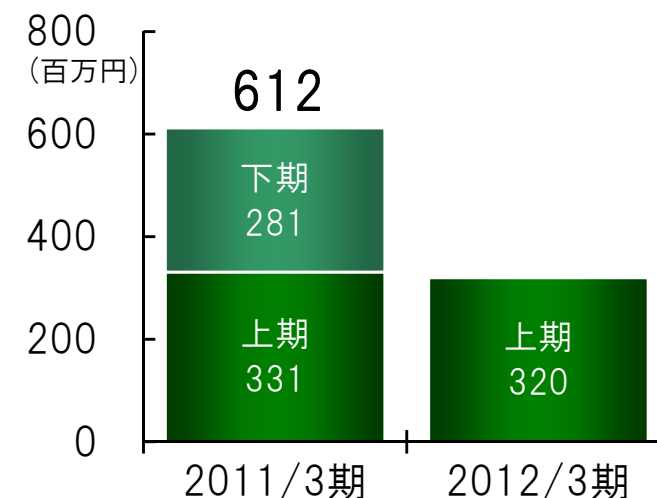
上半期 4月 灘店
7月 佐賀店、諫早店、長崎大橋店、長崎宝町店
9月 滋賀守山店

下半期 11月 弘前店、十和田店、五所川原店、下北店

【売上高】

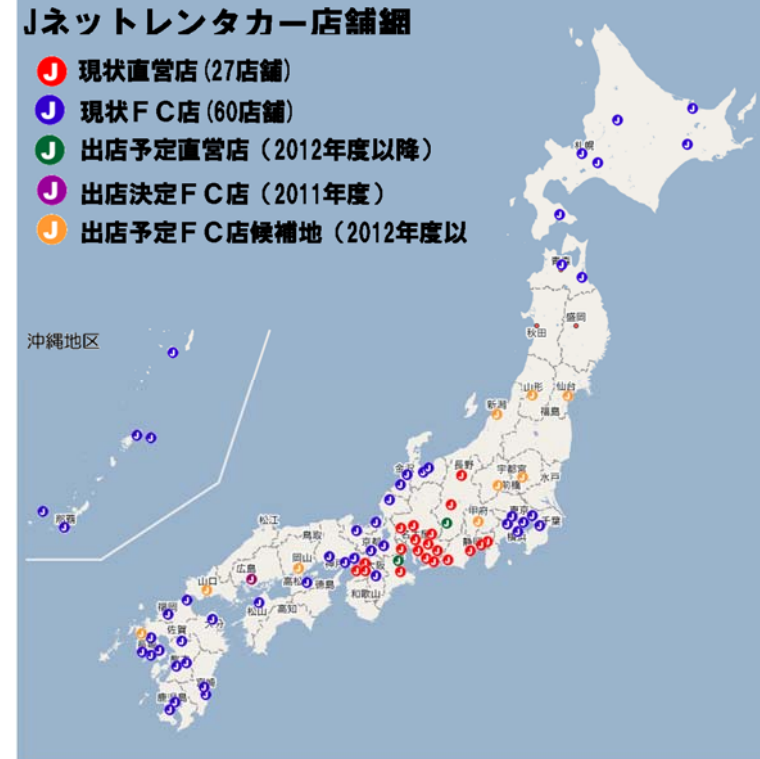


【経常利益】



Jネットレンタカー店舗網

- 現状直営店 (27店舗)
- 現状FC店 (60店舗)
- 出店予定直営店 (2012年度以降)
- 出店決定FC店 (2011年度)
- 出店予定FC店候補地 (2012年度以



2012年3月期 通期業績予想

VT HOLDINGS

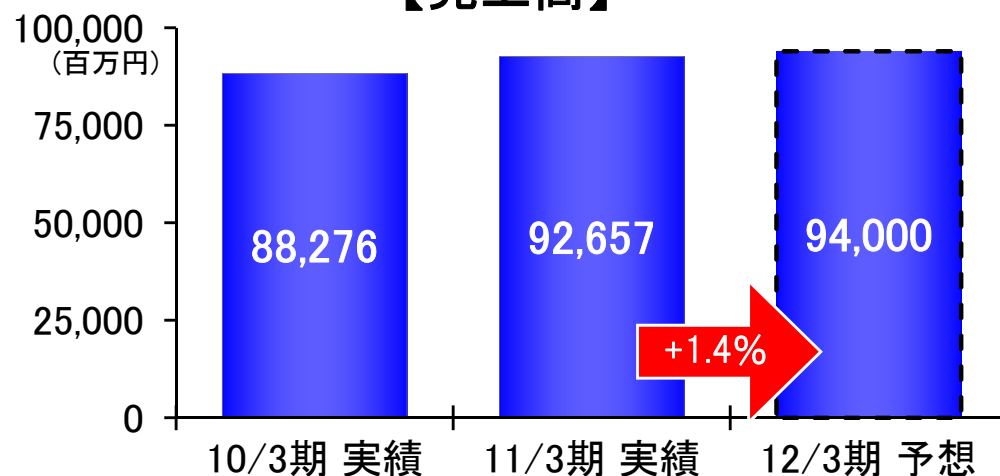
2012年3月期2Q 決算説明

21

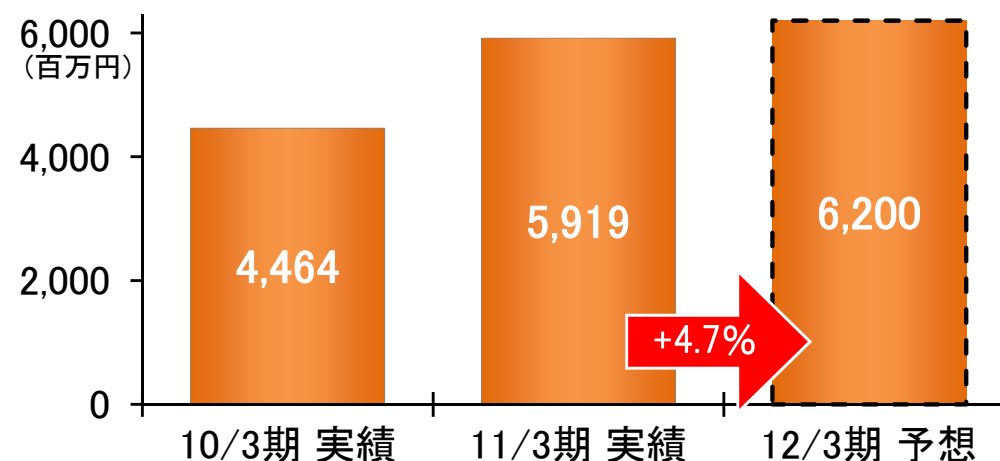
2011年10月25日付で業績予想を修正

好調に推移した上期業績を考慮し上方修正。各利益ともに過去最高益更新の見込み。

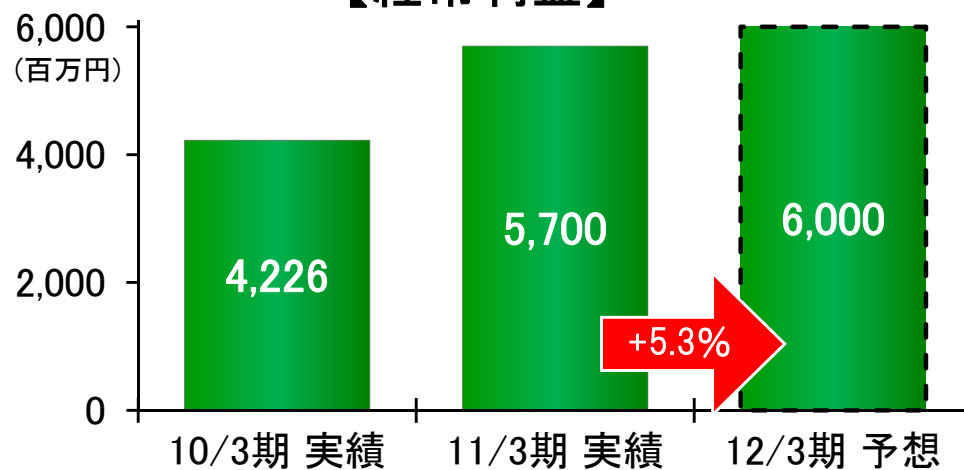
【売上高】



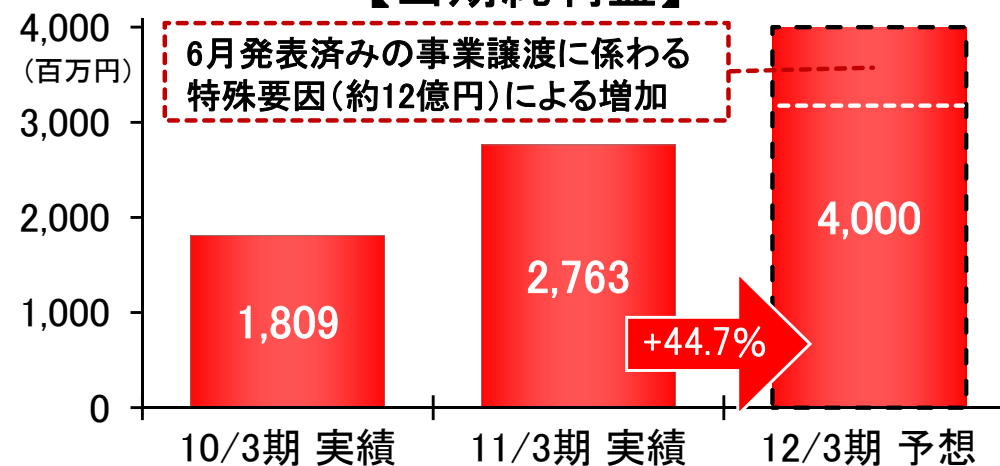
【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】



2012年3月期 セグメント別損益計画

VT HOLDINGS

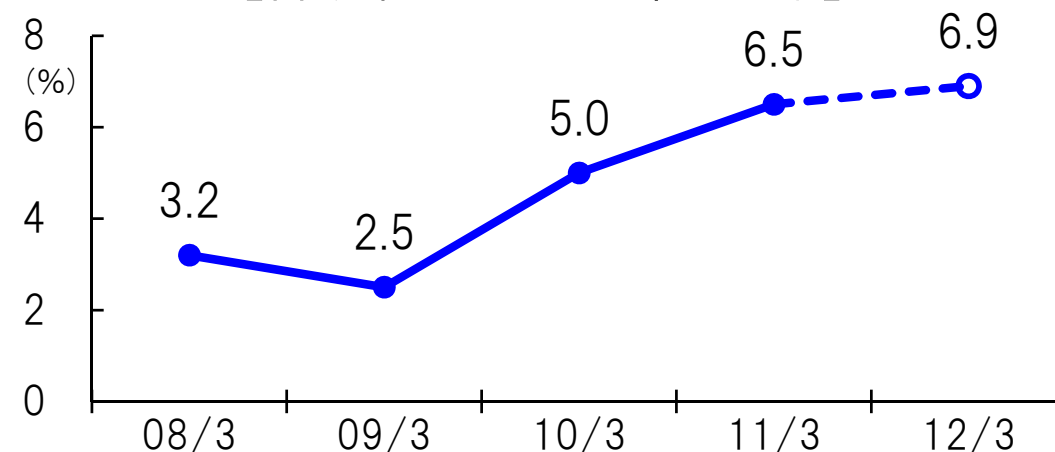
2012年3月期2Q 決算説明

22

自動車セグメントは増収増益の見込み

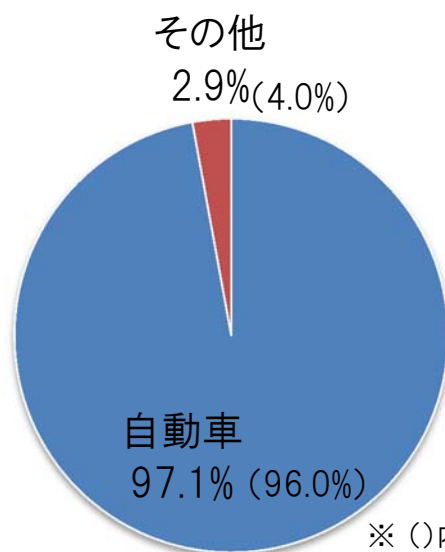
✓自動車セグメントの営業利益率は、11/3期実績(6.5%)から、0.4%改善の6.9%と、安定推移する見込み

【自動車セグメント営業利益率】



【セグメント別売上高構成比】

12/3期計画



※ ()内は、前年同期

(単位:百万円)

		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3 計画	前期比
売上高	自動車	104,910	88,853	83,681	88,914	91,294	102.7%
	その他	3,064	4,576	4,594	3,742	2,706	72.3%
	連結	107,976	93,430	88,276	92,657	94,000	101.4%
営業利益	自動車	3,417	2,243	4,157	5,760	6,314	109.6%
	その他	245	529	435	159	△114	—
	連結	3,370	2,393	4,464	5,919	6,200	104.7%

※ 「その他」には、住宅関連事業、環境関連事業、全社費用と調整額を含んでおります。

自動車セグメント 部門別損益計画

VT HOLDINGS

2012年3月期2Q 決算説明

23

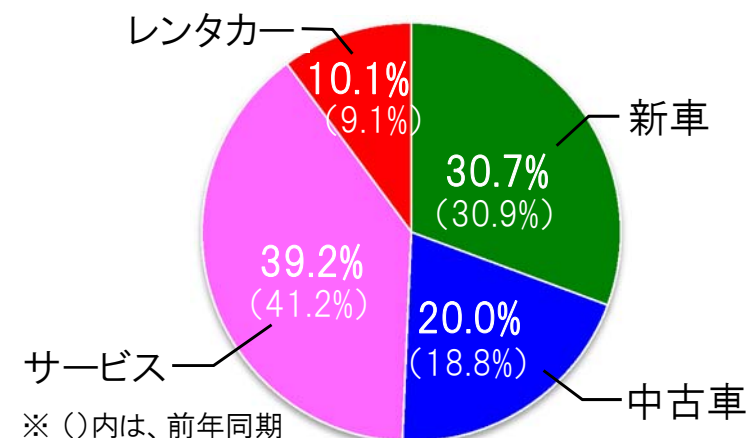
自動車セグメントの粗利益は増加

- ✓中古車部門は、粗利率を大幅改善(+2.6%)
- ✓レンタカー部門は、売上高20%成長、粗利益15%成長

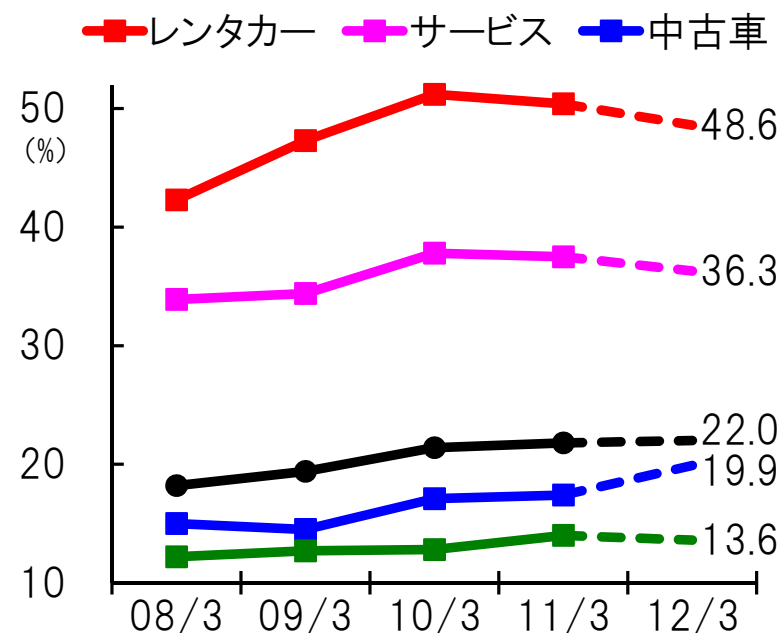
(単位:百万円)		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3 計画	前期比
売上高	新車	52,590	42,005	41,686	42,937	45,189	105.2%
	中古車	27,925	22,833	17,656	21,095	20,217	95.8%
	サービス	21,828	21,691	21,545	21,375	21,699	101.5%
	レンタカー	2,566	2,323	2,792	3,505	4,187	119.5%
	合計	104,910	88,853	83,681	88,914	91,294	102.7%
粗利益	新車	6,431	5,362	5,356	6,010	6,158	102.5%
	中古車	4,200	3,323	3,027	3,663	4,019	109.7%
	サービス	7,416	7,468	8,146	8,023	7,868	98.0%
	レンタカー	1,086	1,101	1,429	1,766	2,036	115.2%
	合計	19,133	17,256	17,959	19,469	20,082	103.2%
粗利率	新車	12.2%	12.8%	12.8%	14.0%	13.6%	-0.4%
	中古車	15.0%	14.6%	17.1%	17.3%	19.9%	+2.6%
	サービス	34.0%	34.4%	37.8%	37.5%	36.3%	-1.2%
	レンタカー	42.3%	47.4%	51.2%	50.4%	48.6%	-1.8%
	合計	18.2%	19.4%	21.4%	21.9%	22.0%	+0.1%

【部門別 粗利益構成】

12/3期計画



【部門別 粗利率】



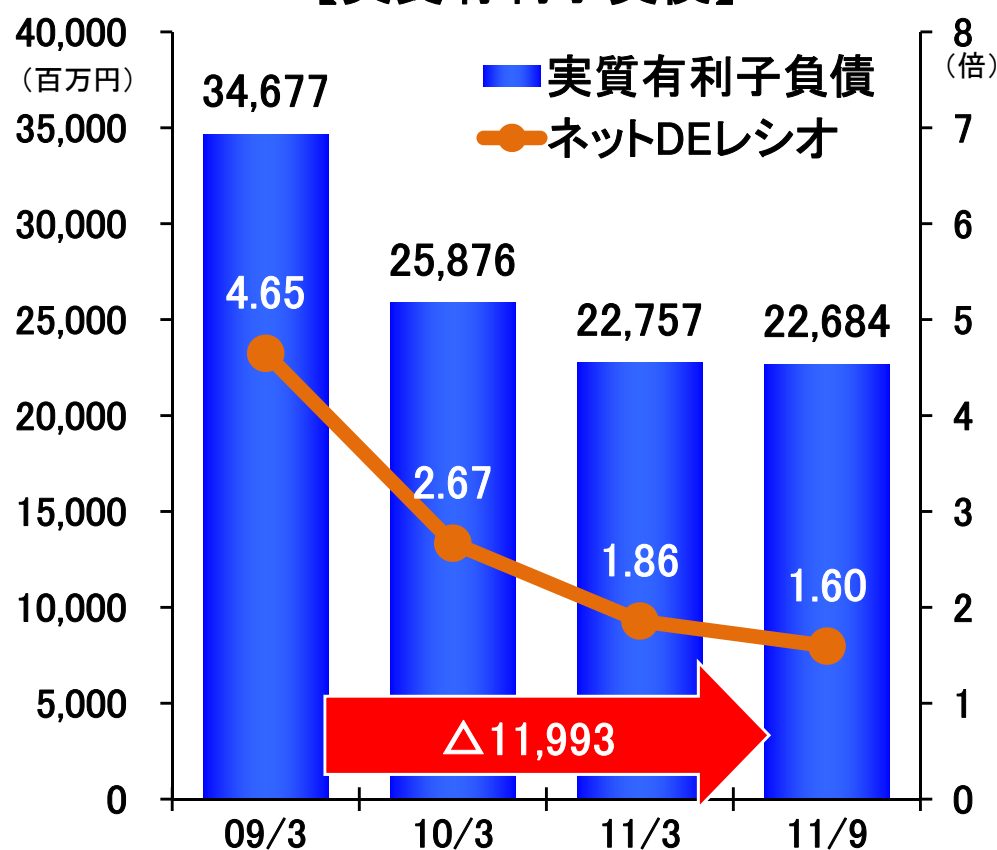
1.実質有利子負債の削減

09/3期末から2年半で実質有利子負債約**120億円**を削減

※実質有利子負債＝有利子負債－現預金

※ネットDEレシオ＝実質有利子負債÷自己資本
(実質負債資本倍率)

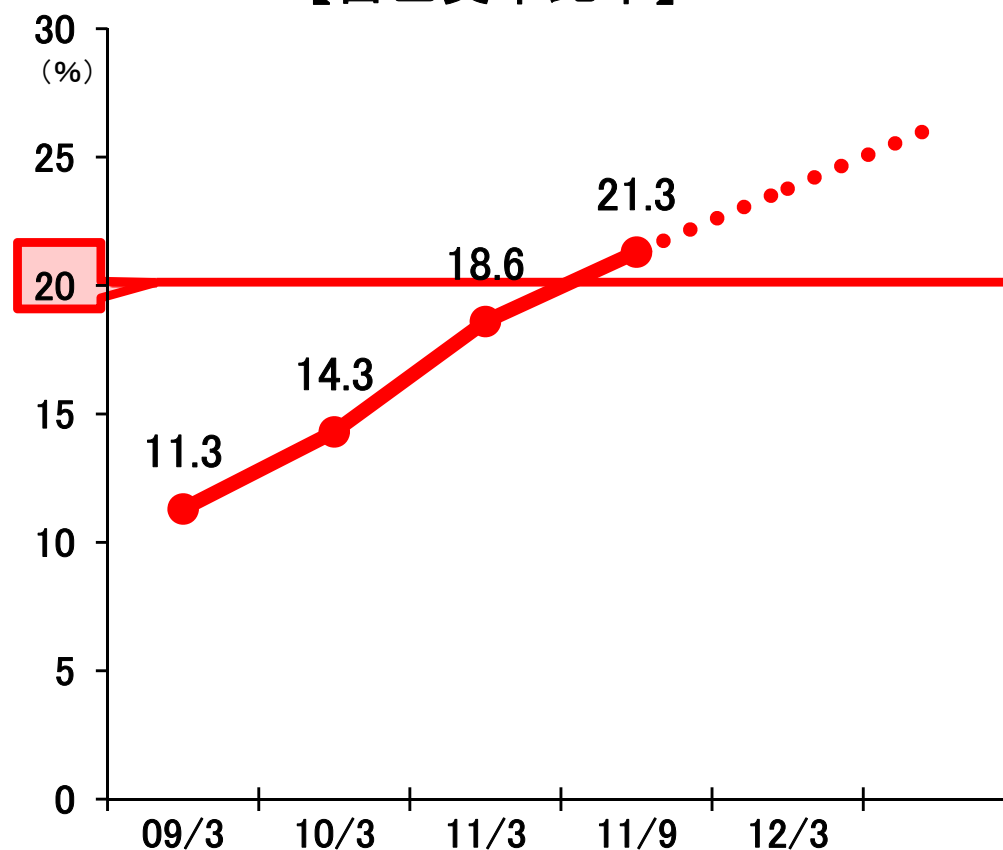
【実質有利子負債】



2.自己資本の充実

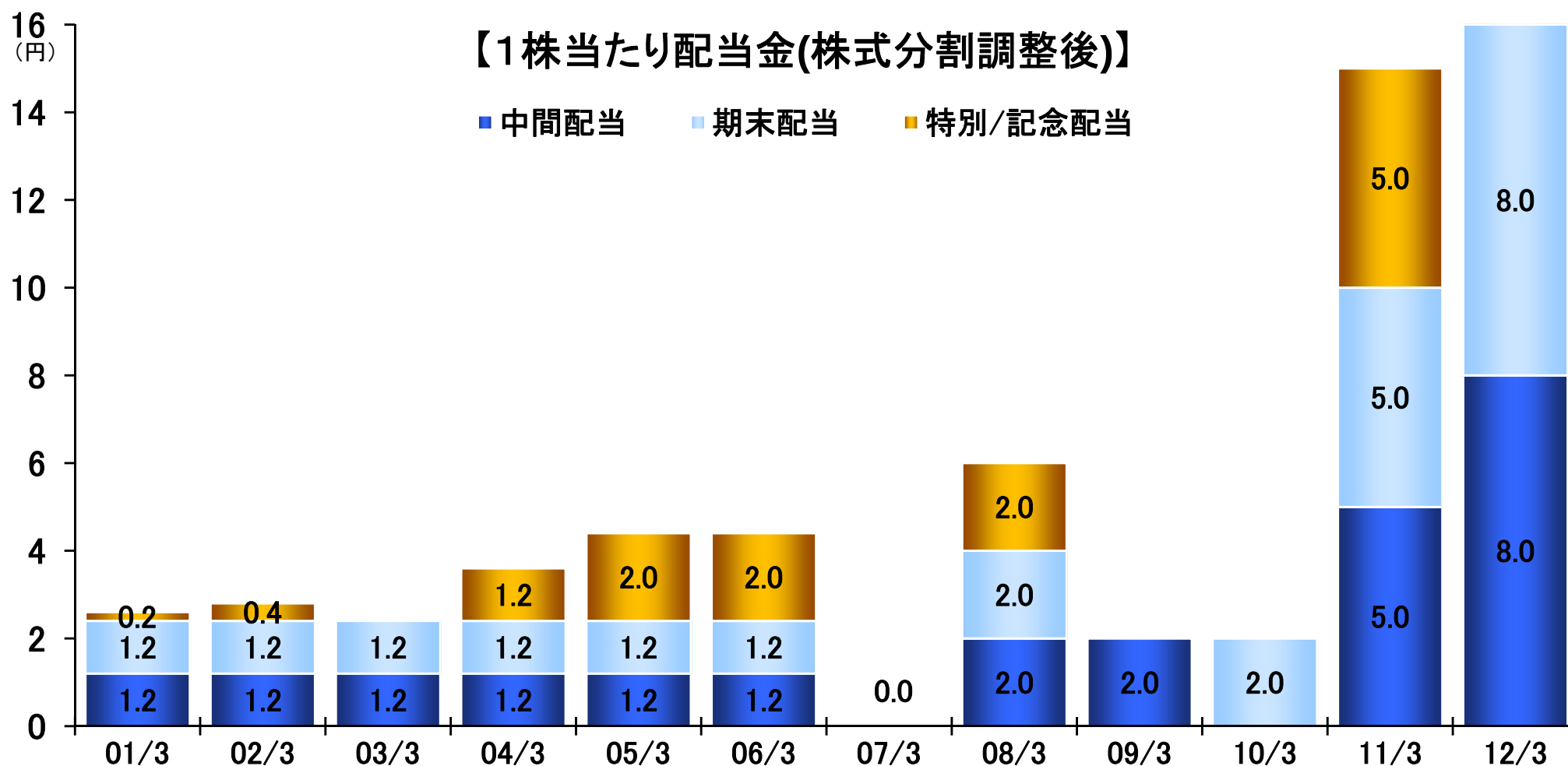
12/3期末までに自己資本比率を20%以上に改善する目標に対し、11/9期末段階で**21.3%**を達成

【自己資本比率】



2011年10月25日付で配当予想を修正

12/3期の当初配当予想(中間6円・期末6円)に、それぞれ2円を追加、年間16円(中間8円・期末8円)の配当とし、**当初予想比+4円(前年比+1円)の増配**
今後も連結配当性向20%を目標に、バランスのとれた配当政策を進める方針



南アフリカで新車ディーラービジネスへ進出

TAA

✓平成23年2月15日に、子会社トラストが南アフリカの新車ディーラーに資本参加。50%超を取得し子会社化するとともに、社名をTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITED とした。



首都プレトリア市内のプジョーの販売店



ケープタウン近郊のフィアットの販売店

- ✓トラストは、今回の南アフリカの新車ディーラー子会社化により、同社の中古車輸出の60%近くを占めるアフリカ地域における情報収集の強化や既存の中古車輸出事業とのシナジー創出が可能となります。
- ✓現在、南アフリカ共和国において、首都プレトリア市内のプジョーの販売店1店舗とケープタウン市周辺のフィアットの新車ディーラーを運営しており、今年度は約10億円の売上高を見込んでおります。

SAA



✓さらに、平成23年3月25日には、同じく南アフリカの新車ディーラーであり、双日株式会社が出資するSOJITZ ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITED に出資、その後10月に子会社化しており、ヨハネスブルグ市内、ケープタウン市近郊のスズキの販売店3店舗を運営しております。

財務体質の強化を推進しつつ、安定成長のステージへ

✓2012年3月期も過去最高益を更新する見込み

